

森の学校屋内編

～木材とふれあう～

亀山市立中学校 3校



ねらい

- ・ 亀山市内の森林・林業の現状について学び、森林の大切さを理解する。
- ・ 亀山の木とふれあうことで、木の持つ特性を知る。

亀山市では、「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用して、市内の中学校で、森林環境教育に取り組みました。

はじめに、子どもたちは、亀山市森林・林業室の職員から、市内の森林や林業の現状、森林のはたらきについての話を聞き、その後、亀山の木を使った木工製作を行いました。

木工製作は、亀山木材産業協同組合の職員が講師となり、学校で使用する本立てや花台、プランターなどを班毎に協力しあって製作しました。また、地域の木を使うことが、地域の森林整備につながり、地域の森林を元気にすることの話も聞き、学びました。

このプログラムを通して、生徒たちは、森林の大切さ、地域の木を使うことの意義を学びました。

プログラム概要

内容	・ 亀山市の森林・林業のお話 ・ 木工製作
時間	1クラス 50分
場所	各中学校の木工室
対象	亀山中学校 3年生 190名 中部中学校 1年生 189名 関中学校 3年生 65名
講師	亀山市森林林業室職員 亀山木材産業協同組合職員
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した市事業「森と木材のふれあい事業」